

議員提出第七号議案

テロに対する万全の対策を求める意見書

先般、シリアにおいてISISが二名の邦人に対し、非道、卑劣極まりないテロ行為を行った。

このような蛮行は、いかなる理由や目的によっても正当化されないものであり、断固として非難するものである。

国会及び政府におかれては、テロの脅威に直面する国際社会との連携を深め、地域の安定化にむけた非軍事的な取組に貢献するとともに、国内及び海外における国民の安全確保に万全の対策を講ずるよう求める。

また、このような事態が二度と繰り返されないよう、今回の事件の政府対応を検証して教訓として活かすとともに、その結果について可能な限り最大限の情報を国民に公開するよう併せて求める。

右、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成二十七年三月十七日

大分県議会議長 近藤和義

衆議院議長	町村信孝殿
参議院議長	山崎正昭殿
内閣総理大臣	安倍晋三殿
法務大臣	上川陽子殿
外務大臣	岸田文雄殿
防衛大臣	中谷元殿
内閣官房長官	菅義偉殿
国家公安委員会委員長	山谷えり子殿